

生産 / 再生産から排除される、 女性の内面へ

生産 / 再生産を忌避する女性たち
働くのが怖い、産むのが怖い、その内面へ

金井淑子(立正大学)

2013年7月13日(土)

「法」の後の、「労働」・「再生産」のゆくえ

「男女共同参画社会」、この社会で生きるのも疲れそう

若い女性たちの本音

専業主婦志向の強まり

産むこと・働くこと両面からの、社会的戦力化の攻勢の強まりの中で
働くのが怖い・産むのが怖い

女性の社会的戦力化へ、さまざまな施策・支援策、環境整備

チャレンジ支援策

女性のキャリア形成、再チャレンジ支援、「働く女性にやさしい社会」

次世代育成支援法

女性への上昇圧力・競争の激化の新たな要因

グローバル化の中でのダイバーシティ政策

ジェンダー・男女共同参画

女・女間格差、女性の所得格差のもたらす、再生産格差

働く女性の新たな憂鬱 → 「ママ友」地獄にみるような・・・

グローバル化・格差社会と女性

労働法制の規制緩和の元で進んだ労働の実態

さまざまな負の遺産 男女共に格差拡大 女性の貧困化はさらに進行
パート待遇に日本の女性労働問題は凝縮→格差問題は女性問題
女性は戦力化される一方で格差は拡大→働くのも疲れそうの実感
ワーキングプアは女性問題

他方で、女性のキャリア戦力化による、女性内部の格差 再生産格差、

ジェンダー視点不在の、「さ迷う日本の福祉国家」

世帯単位主義

企業福祉

公的福祉政策における人生前半期の福祉の不在

社会的排除を超えて、安心して子どもを産み育て老いていける社会創り

真の「主婦の構造改革」か？

(金井淑子『異なっている社会を 女性学／ジェンダー研究の視座』2008 第10章)

本報告が考えたいこと 1

「不可視化された女性の〈若者問題〉」

①女性労働問題

女性の貧困

非正規問題

家族依存問題

社会学的なリアリズム、統計数字が描き出す視点とともに、その数字からあらかじめ排除されてしまっている女性たちの存在へのアプローチ



アンダークラス化する若年女性

②「若い女性たちの働くのが怖い・産むのが怖い」という内面の気持ちの事情に踏み込んで考える視線。女性には上昇への圧力が働き、社会的にそれをサポートする制度的現実も整いつつある。当の女性たちの側のためらう意識。

③「労働からも結婚・家庭からも排除される女性」 女性自身の忌避感。

④問題・症状・兆候の現われ方

⑤「若者自立問題」の取り組みが「不可視化してきた女性の〈若者問題〉」

本報告が考えたいこと 2

若い女性たちの「承認欲求」の解体と浮遊

労働 結婚・家庭からの排除

セクシュアリティの中の承認欲求

1. 格差社会の進行とジェンダーの再配置

図1. 不可視化された女性の〈若者問題〉

2. アンダークラス化する若年女性

図2. は、図1. においても明示化できていなかった、若い女性たちの現実
若い女性たちの「承認欲求」がどのように解体し浮遊しているか
女性のホームレス化とセクシュアリティの問題の絡み
「神待ち少女」といった言葉から映し出される問題
インターネット、ネットカフェの普及→若い女性たち「ネットカフェ難民化」
アンダークラス化は男性同様で、ホームレス化・路上生活者化と紙一重

かろうじてそれを免れている。その現実を可視化した図2である。



もっとも不可視化されてきた女性の若者問題

生き難さのジェンダー非対称性

アッパークラス／アンダークラス、それぞれの生き難さ

- ・女性問題 → 戦後日本社会の高度経済成長期に登場した「主婦」
その固有な生き難さへの気づき
- ・「女性学」「ジェンダー研究」 家父長制・ジェンダー・性別役割規範
- ・現在の若年女性は、労働からも結婚・家庭からも排除
深いアイデンティティ・クライシスの中に
- ・女性は家庭に包摂される存在とする通念、女性労働の家族依存モデル
女性の「若者問題」を不可視化
→女性のニートやパラサイト、ひきこもり、「家事見習い」は不問視化
- ・「労働からの排除」という視点とともに「承認欲求」の解体・浮遊の視点も
メンタルヘルス系諸兆候 生命の危機にも及びかねない形で、さらに
アッパークラス、アンダークラス、それぞれの生き難さ

10代少女の保健室 本音の場所

労働からの排除に先行する、教育からの排除、家庭からの排除

貧困、学校社会から落ちこぼれた10代の少女たちの居場所となった保健室

金子由美子 「季刊セクシュアリティ」編集長 教育現場に蔓延する「性的いじめ」

「承認欲求」が性への関心に 性に受け身の少女たち



性被害のリスク、性産業に流れ込むリスク

学校文化への女子生徒の対応の4タイプ

しとやかな優等生

おとこまさりの優等生

普通の女の子

問題女生徒

居場所は、保健室に、さらに学外に

木村涼子『学校文化とジェンダー』勁草書房1999

若い女性たちの自立の戸惑い 深いアイデンティティ・クライシス

他方、家庭・教育から落ちこぼれず、高学歴化した女性たち、
ライフデザインの描きづらい現実 上昇への圧力 ジレンマ ・葛藤



メンヘル系問題を抱え込む予備軍

母世代の「主婦病」ではとらえきれない

アラサー・アラフォー女性の自分探し

その困難さの背景

キーワードは、

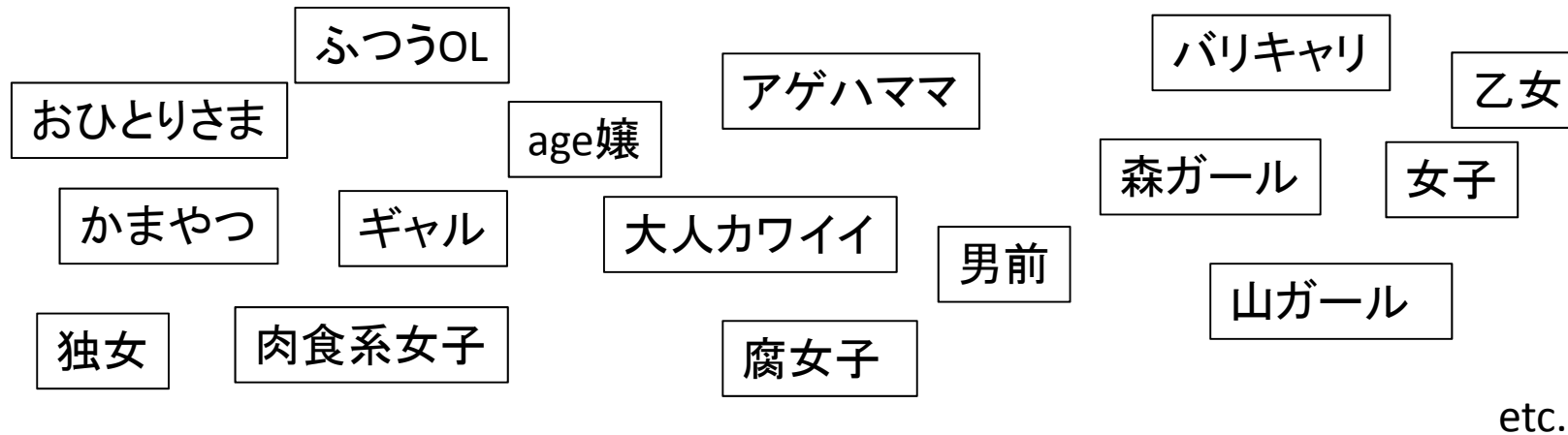
自尊感情、自己肯定感、居場所、メンタルヘルス、承認されたい自分

現在の若年女性に固有な生き難さ感に届く

新・女性学

若い女性たちの見られたい自分・自称的名のり

ネット社会がつくりだす、女性のラベリングと記号的差異化



上記の言葉は、現在の社会を生きる若い女性たちへのラベリングやカテゴライズに対する、女性たちの自称詞的な名乗りとその記号的な差異化の多様性を洗いだしたものである。

「働く女性のナデシコ作戦」や「イクメン政策」のもと男女共同参画社会が推進されている現実とは裏腹に、現実的にも感覚的にも「産むこと」「働くこと」双方から阻害されている女性たち。その「包括されない女性」の登場、閉塞感を強める女性たちの内面を映し出す一つの兆候が、SNSメディアの発展の中で、小さな差異を自己主張する「名乗り」のなかにも読み取れる。

その2へ

その2

女性のキーワードは実に多彩・多岐にわたるが、男性のキーワードには幅がない。

ブログの中の自己紹介には「自分をどう見られたいか」の自己申告的な名乗り、アイデンティティ・価値観の微細な差異の申告か、はたまた承認欲求の現れか？

マイペースポニョポニョOL

腐女子乙女

ギャル主婦

独女・フリーター・ワーキングプア

男性のほうは、もっぱら職業の正規・非正規、男らしさの規範への適応度、社会化の程度などの幅で記号化か？

ロールキャベツ系

イクメン

オタク

ガテン

etc.

弁当男子

肉食系

マッチョ

インテリ

消費社会における男目線の衰退と、女の欲望という新しいマーケットの登場
「女子」や「女子会」の登場は、商品としての女性ではなく、商品进行评估する消費者としての女性の目線が、現代の男女関係を象徴するキーワードとして支持される「草食系男子／肉食系女子」の関係性に、選ばれる女から選ぶ女への変化か？

若者たちの、働かない／働けない内面的事情

生存のセイフティネットの脆弱化

教育・家庭・労働・福祉・自己からの「五重の排除」 湯浅誠『反貧困』

個人の怠慢や病理に帰責する限界

戦後日本社会の負の遺産

学校・教育 家庭・子育て 労働・雇用 経済・社会

突然起こった問題ではない

不登校問題

ひきこもり

ニート・フリーター化

アダルト・チルドレン問題

メンタルヘルス系問題 うつ・アディクションetc.

日本社会の人生前半期の福祉の不在

格差化社会とジェンダー —女・女格差／男・男格差

GDPは女性の働けば上がる。「く働け」言説」の横行

・若年労働雇用の悪化、正規職から非正規職への若者の排除

→要因として女性内部の階層分化による

「女・女格差」の進行

「上方への圧力」

・「男性労働の非正規化」に起因する

「男・男格差」

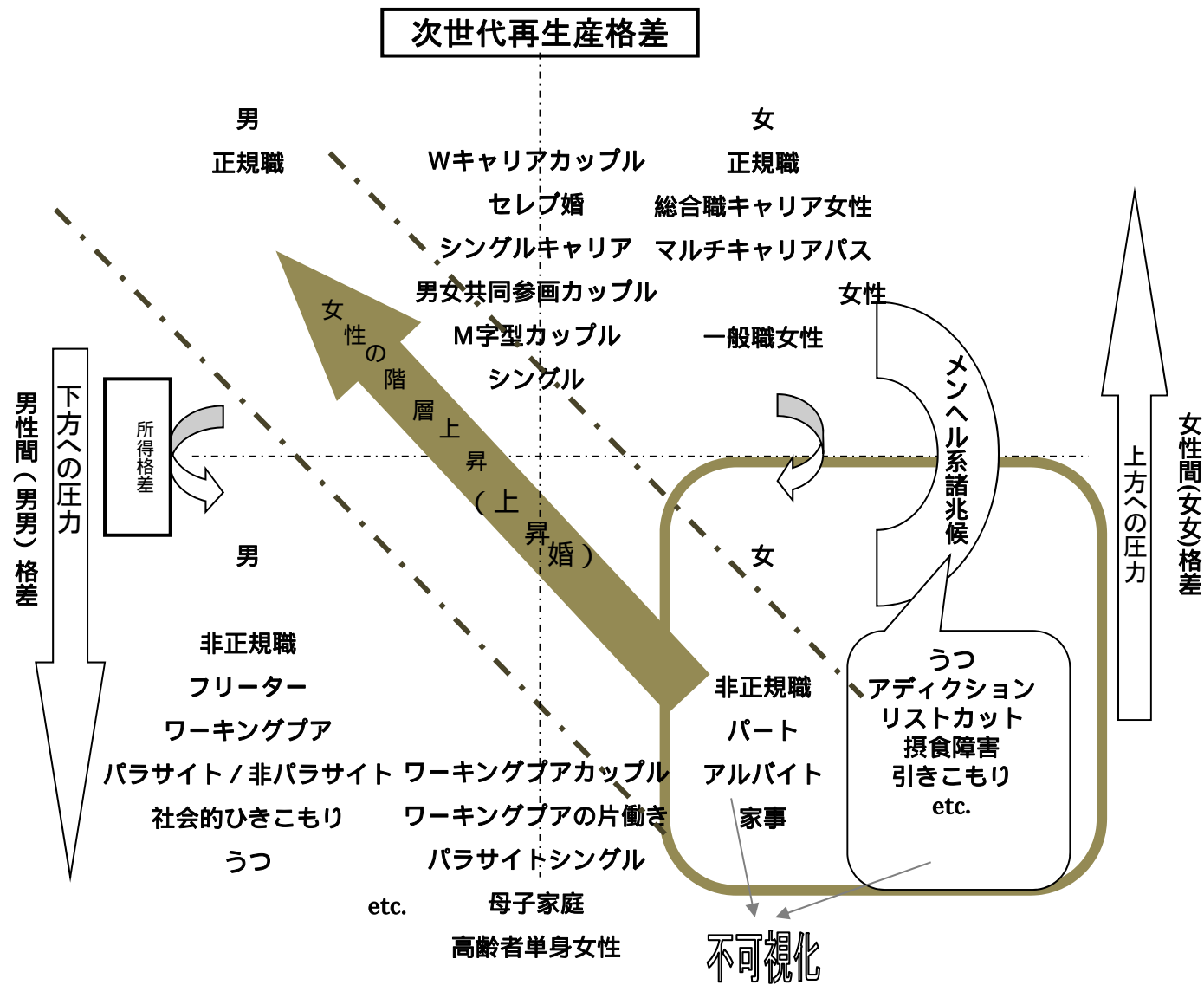
男性への「下方への圧力」

・女性の働き方×カップル間の所得格差のヒエラルキー

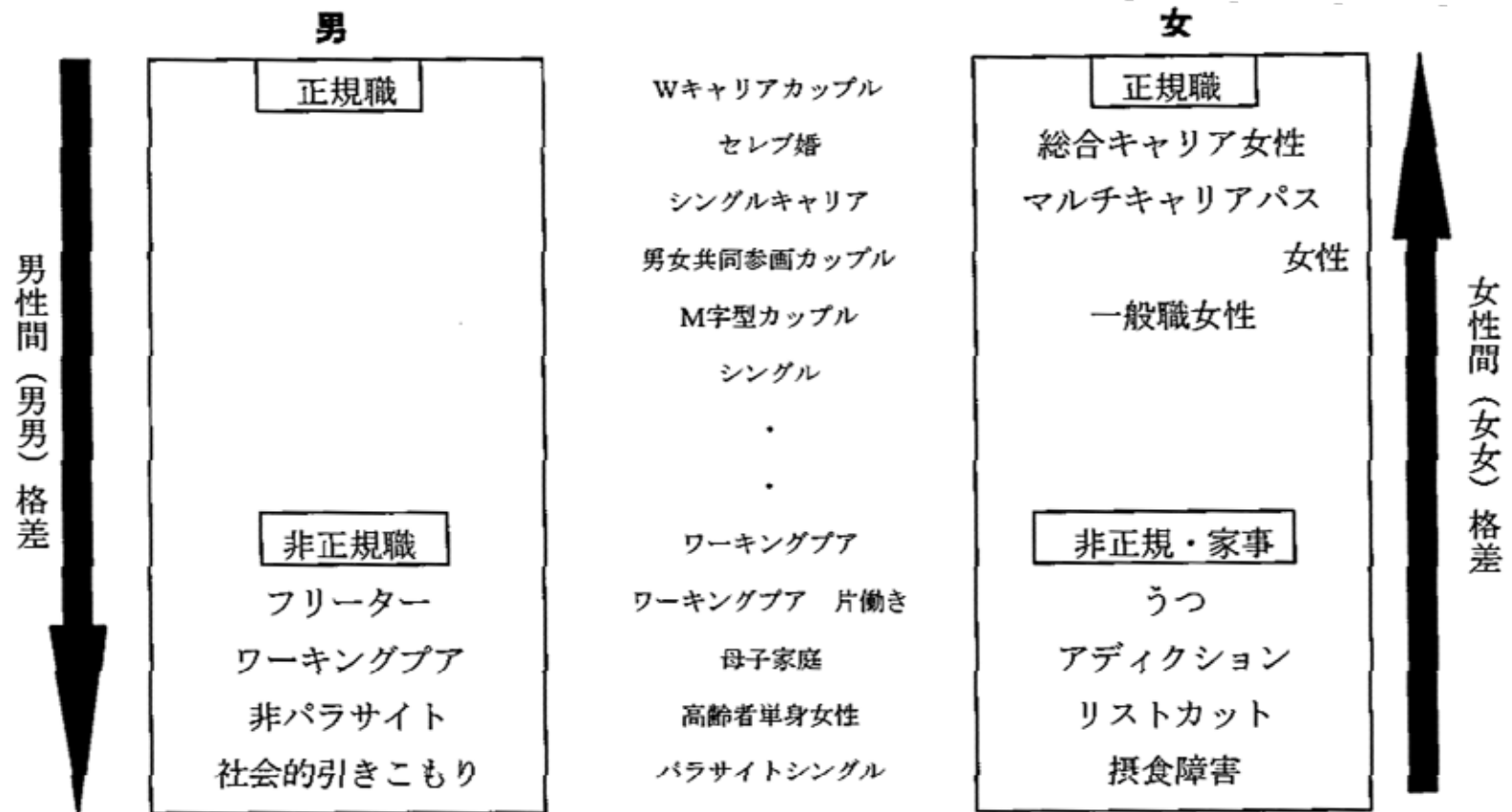


次世代の再生産コストの格差化を導く形で格差社会の固定化

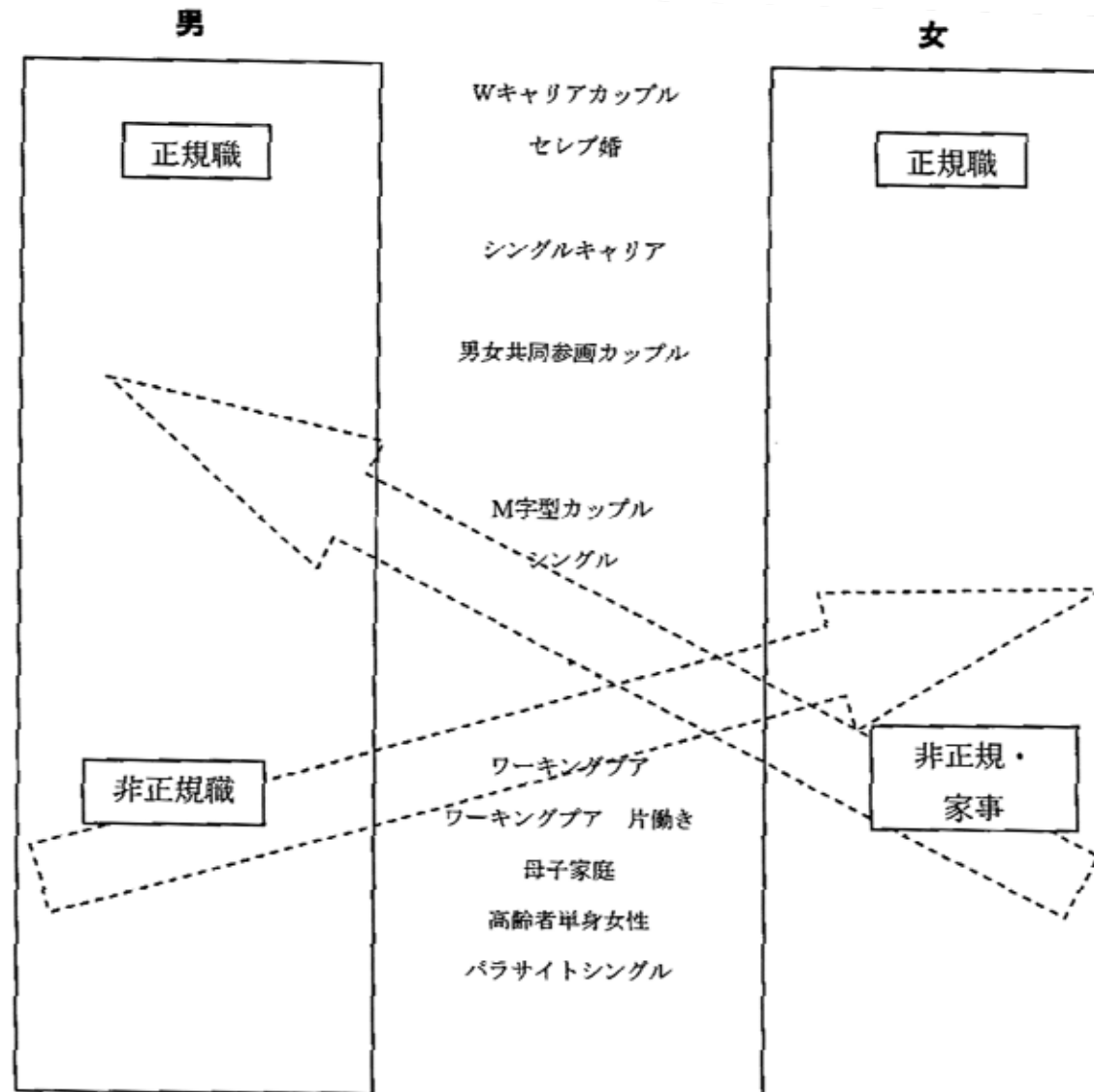
【図1】不可視化される女性の「若者問題」



【図2-1】格差社会と女性の働き方 再生産格差の固定化図



【図2-2】格差社会と女性の働き方 再生産格差の固定化図



「若者問題」への接近

自立支援策から取りこぼされる女性

就労支援を軸とする自立支援策の死角

就労支援 サポート・ステーション 若者塾 ジョブカフェ etc.

ワンストップ・パーソナル・サポート・サービス

民間NPOによるさまざまな取り組み

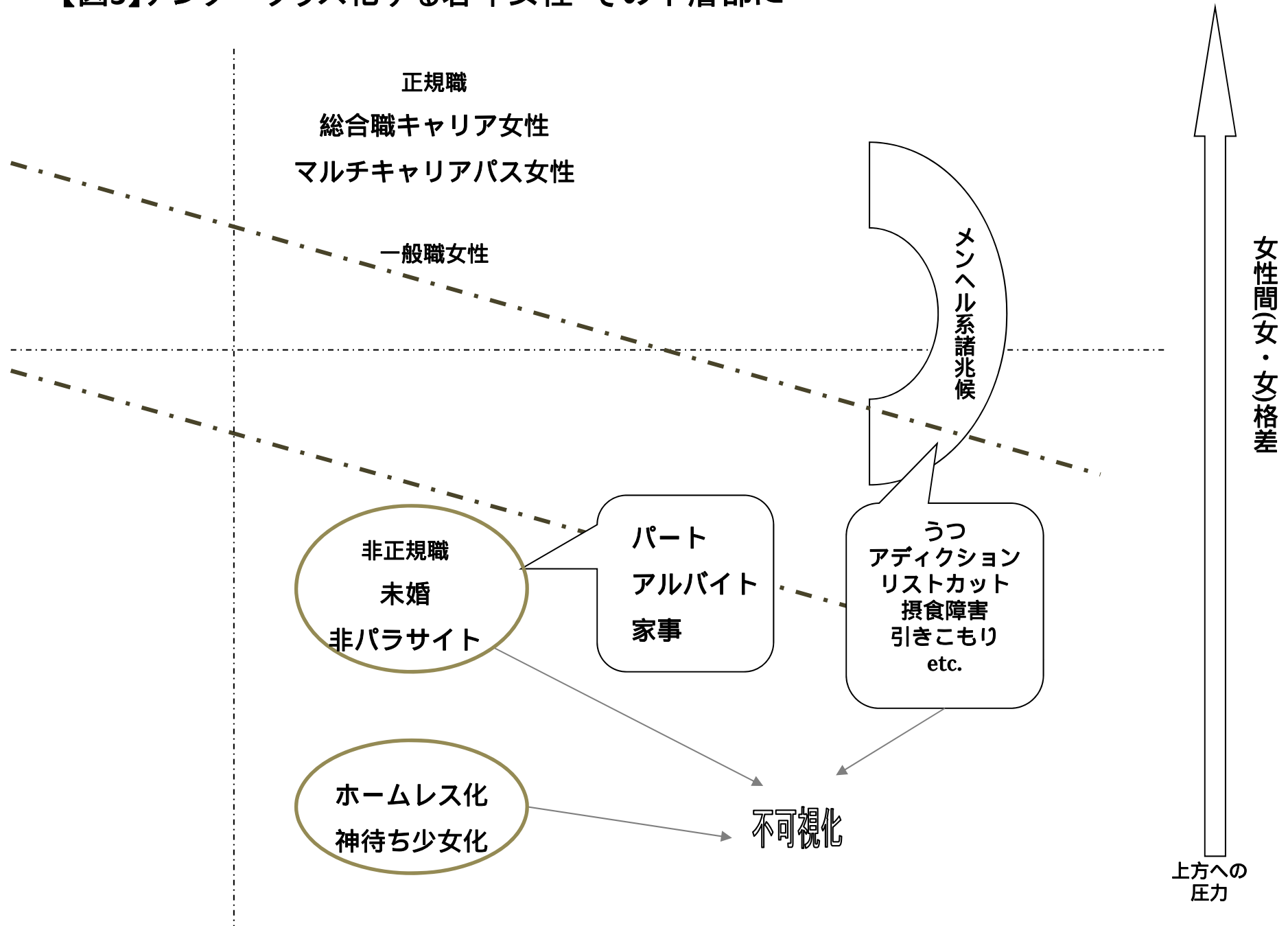
成果はどこに届いているのか？

若者はいまどこに吹きだまっているのか？

若い女性はどこにいるのか？

不可視化されているのか

【図3】アンダークラス化する若年女性・その下層部に



女性ホームレスが映し出す日本社会の問題

- ・ 日本の女性のホームレス→全体のわずか3.3%(厚生労働省 2007a)
- ・ ホームレスの定義(「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」)
「都市公園、河川、道路、駅舎その他の施設を故なく起居の場所とし、日常生活を営んでいる者をいう」
→女性は路上生活でない形のホームレスとして存在しやすい
- ・ 性別役割分業が家庭内の仕事の配分、労働市場のあり方も規定
女性労働の家族依存モデル → 不安定な低賃金に従事せざるを得ない
- ・ 女性の野宿者が少ないのは、女性世帯そのものが形成しづらいため
また、多岐にわたる福祉制度があり、スティグマを伴う低水準であるが
生活維持には寄与

丸山里美「ジェンダー化された排除の過程—女性ホームレスという問題」

青木秀男編『ホームレス・スタディーズ 排除と包摂のリアリティ』ミネルヴァ書房2010所収

丸山里美著『女性ホームレスとして生きる 貧困と排除の社会学』世界思想社2013

現代社会と女性の若者問題

女性に働く上昇圧力 アッパークラス化のもたらす問題

働く身体／産む身体の引き裂かれ 女性の内面の深い葛藤

労働、家庭から排除される女性の現実・問題
メンヘル系問題

親の年金にパラサイト→親の介護→就労からの排除→無年金
→親の死後は生活保護予備軍

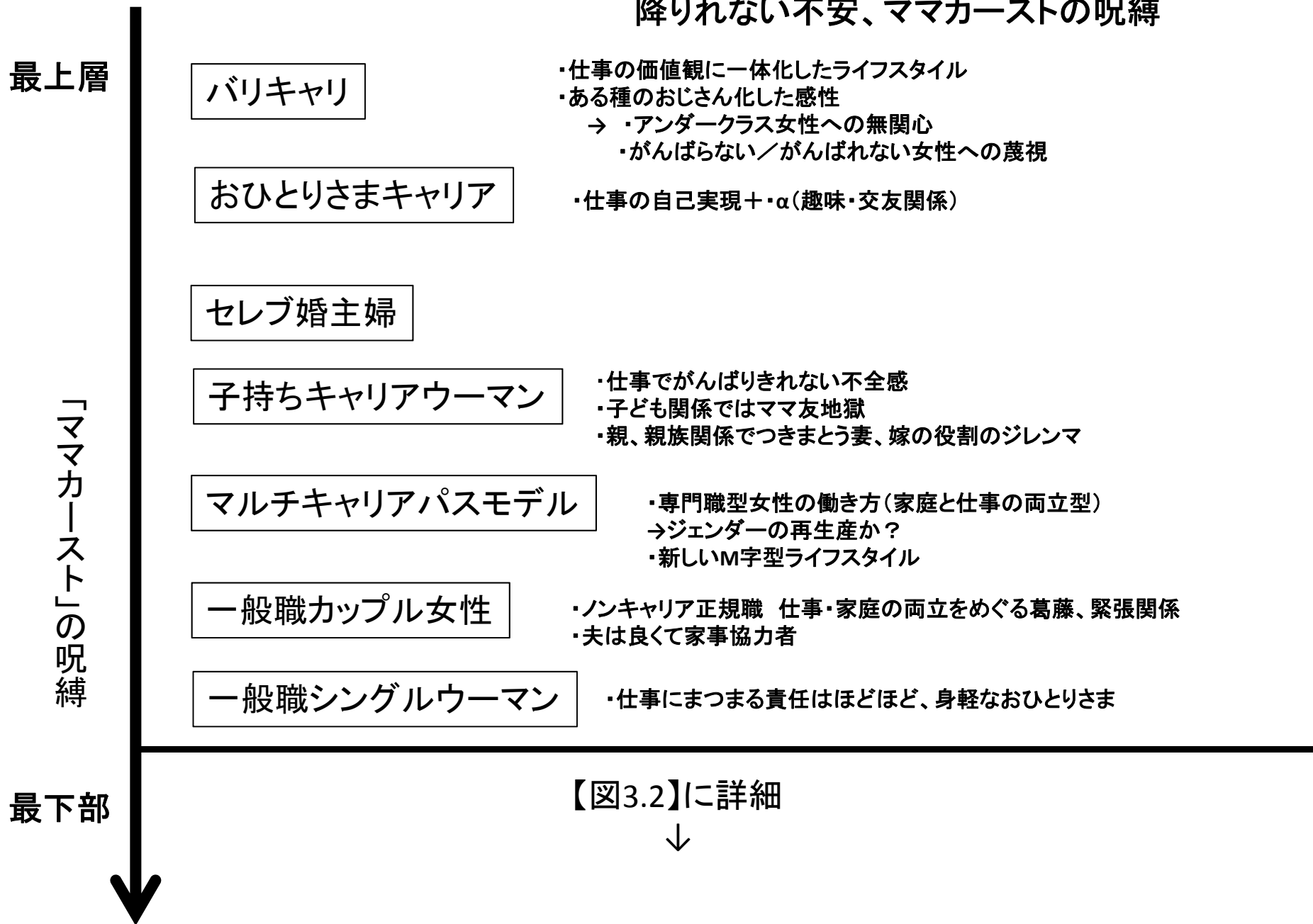
非正規雇用・非パラサイト 生存基盤の不安定性

ネットカフェ難民 路上生活者 予備軍

女性のホームレス化は、統計数字的には数パーセント

女性はどこに居るのか？ 何として承認されたいのか？ 「女」として・・・？

【図4.1】格差社会と女性の階層化 アッパークラス女性 降りれない不安、ママカーストの呪縛



最上層

「ママカースト」の呪縛

【図4.2】格差社会と女性の階層化

アンダークラス女性



【図3.1】に詳細

無職・専業主婦、パート主婦

シングルパート、アルバイト(非正規雇用・親元パラサイト)

無職家事見習い女性(親元パラサイト)

シングルパート、アルバイト(非正規雇用・親元非パラサイト)

労働・結婚(家庭)から排除される女性

・一部性産業への吸収

ネットカフェ・ファミレス難民

教育からの排除
労働からの排除
結婚・家庭からの排除
福祉からの排除

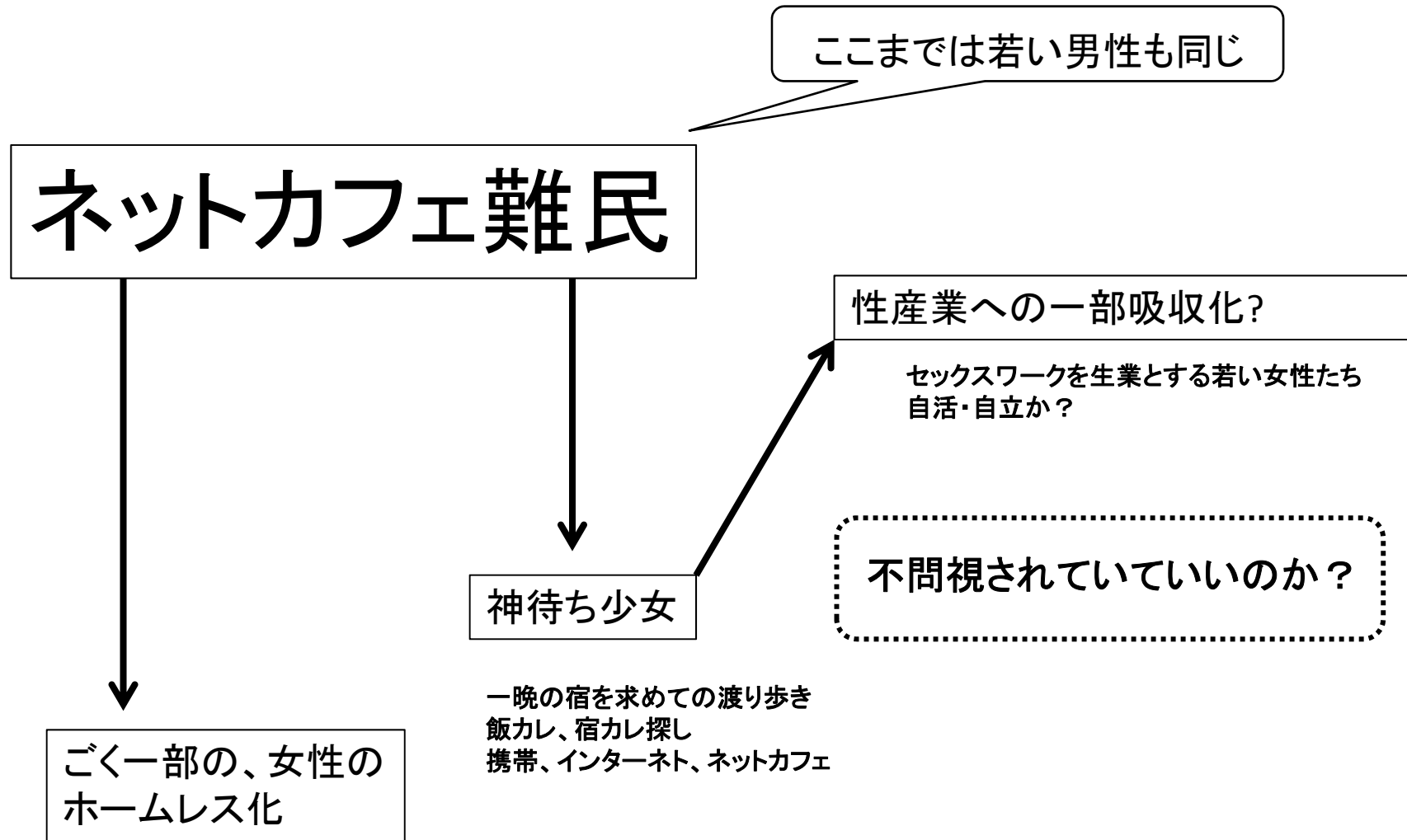
最下部

ホームレス予備軍

神待ち少女



【図5】女性の路上生活者 ホームレスはなぜ少ないのか どこにいるのか



社会的包括的支援に よりきめ細やかな視点を

- ・メンタルヘルスケアの観点を踏まえた施策・支援策の展開
- ・これまでの女子の教育・雇用の対応関係のあいまいな教育の見直し
- ・キャリアデザインを「就活」対策の実学・資格教育にとどめず、
- ・女性のライフデザイン教育あるいはエンパワーメント教育を組み込んだ教育に
- ・労働・就労への自己課題としてだけでなく、自らの性と身体に対する自己尊重感を育む、女であることの自己肯定感、性に対する自己尊重感
- ・セクシュアリティ教育 性教育の位置づけの重要性
- ・メンタル面、進路選択など、人生前半期で直面するさまざまな「困難」への支援
ex.「フリーターズ・フリー」→「働くことの意味にこだわるからフリーターの生き方
- ・「包括的支援」と「パーソナル・サポート」の意味



「働くことの意味を問うこと」や「自己尊重感の回復」へ拡張
「生き難さ」の感覚のジェンダー非対称性や女性内部の階層化などへの配慮、
若年女性・若年男性が直面する「生き難さ」や「困難」の個別性に即した対応策

社会的包括的支援に よりきめ細やかな視点を

- ・ 生き難さや承認欲求さらに自尊心の育みといった課題から見れば、事態は「アンダークラス化する層」だけの問題ではない。

→現代社会を生きる若い女性の生き難さ感について、本報告が「若年女性のネットカフェ難民化」や「神待ち少女化」の問題にとどまらず、「ママカースト化」といった問題まで拡張して取り上げた所以である。

現在の若年女性に固有な生き難さ感に届く

新・女性学の視点

包括的でパーソナルな支援の在り方

「個人的なことは政治的である」の原点に立ち返って